

ゆたかクラブ豊橋だより

吉田春秋



第60号

■発行／ゆたかクラブ豊橋(豊橋市老人クラブ連合会) ■編集協力(株)博報社／名古屋市北区田幡2-13-23 2F-B ☎0120-0212-09

第27回 豊橋市シルバースポーツ中央大会

11月14日、高師緑地で、第27回豊橋市シルバースポーツ中央大会を開催しました。市内9ブロックの各予選を勝ち抜いた代表チームの約300名が参加し、ゲートボール、ペタンク、グラウンド・ゴルフの3競技で順位を競いました。

当日は、朝から時折小雨の降る肌寒い1日で、早朝より競技された参加者の皆さまからは「グラウンドが湿っていてなかなか球が転がらない」という声や、「手が冷えていつものようなプレーができない」といった声が、会場のあちらこちらで聞かれました。それでも、時間が経つにつれ、競技に没頭する皆さんの熱気の高まりを肌で感じる事ができました。

昼頃には雨脚が強くなったため、予定よりも試合数を減らすこととなり、その結果で順位を決定いたしました。今年はあいにくの天気となってしまいましたが、悪天候にも負けないゆたかクラブ豊橋会員の皆さまのパワーを目の当たりにできた大会となりました。また、最後の表彰式はテント内で行いましたが、狭いスペースの中、お互いに気遣い合う皆さんの姿がとても印象的でした。



★ブロック総合優勝 大清水ブロック



〈優勝コメント〉
グラウンドコンディションは悪かったですが、チーム一丸となった結果、優勝することができました！

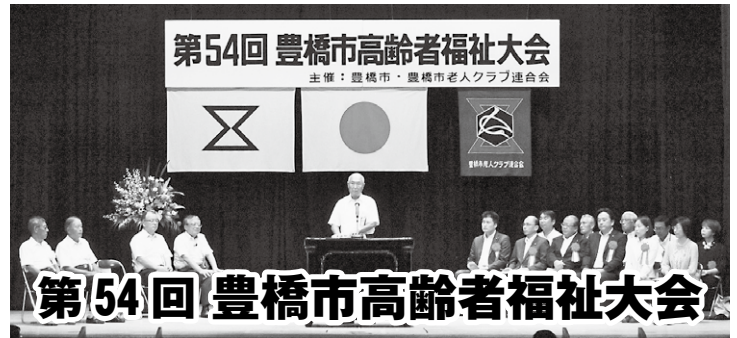
★ブロック総合準優勝 仁連木ブロック



〈準優勝コメント〉
グラウンド・ゴルフで1位、2位を取れたことが、準優勝という結果につながったと思います。

種目別結果

ゲートボール	優勝	高豊校区
	準優勝	嵩山校区
ペタンク	優勝	老津校区
	準優勝	吉田方校区
グラウンド・ゴルフ	優勝	岩田校区
	準優勝	多米校区
	第3位	野依校区



挨拶する佐原市長

8月24日、豊橋市公会堂で、第54回豊橋市高齢者福祉大会を開催しました。

第1部の式典は、夏目定副会長の「開会のことば」で開幕しました。国歌斉唱、物故者への黙とうに続き、主催者を代表し、佐原光一市長より「皆さまの長い人生経験で培われた知恵を、今の日本は必要としていま

す。地域活動など新しいことにもチャレンジして、是非とも次世代に力をお貸しください。長生き、万歳です。皆さまの末永い幸せを祈念申し上げます」と挨拶がありました。

また、鈴木和男副会長は「離婚率の上昇や晩婚者の増加により、今後ダイヤモンド婚・金婚を迎えることが困難になってくることが予想されます。本日ご参加の皆さまには、夫婦の絆やパートナーを思いやる素晴らしさを次世代へ伝えていく役割があるのではないで



感謝状の授与

しょうか。ご夫婦が共に元気でいられるためにも、老人クラブに入って活動されることをお勧めします」と呼び掛けました。

その後の顕彰では、長年にわたり市内の老人福祉施設を訪問し、入所者の皆さんに得意のマジックや童謡を披露されている岩月淳一さんを「老人福祉事業功労者」として称え、感謝状を贈呈しました。

県議会議員からは祝辞が寄せられました。

その後、「思い出スライド」の上映を行い、ダイヤモンド婚・金婚のご夫婦がこれまで歩まれてきた時代の、世の中の出来事を振り返りました。最後に、前田恭副会長による「大会宣言」が満場の拍手で承認され、第1部は終了しました。

第2部では、この大会ではすっかり恒例となった「花男子による花贈りパフォーマンス」を行いました。会場を代表し3組のご夫婦が登場し、旦那さまから奥さまへ、日頃の感謝の言葉を添えて花束が贈られました。ご夫婦のエピソードに会場が感動の涙に包まれる中、サプライズで観客席に座っていた旦那さま全員に花束が配られました。思わず出来事に皆さま驚かれましたが、照れながらも隣に座る奥さまへ感謝の花贈りをされていました。この「会場全体での花贈り」により、例年以上に感動あふれる大会となりました。



ダイヤモンド婚祝詞の贈呈



サプライズの花贈りに感激！



ゆたかクラブ豊橋
(豊橋市老人クラブ連合会)
会長 今川 智嗣

多くの「ご縁」を 育む一年に

新年あけましておめでとうございます。ゆたかクラブ豊橋会員の皆さまにおかれましては輝かしい新春を迎えられましたことと心よりお喜び申し上げます。

さて、本年は戌（いぬ）年です。犬は人間との付き合いが古く、社会性のある動物です。干支の特徴がその年には良く出ると言われますので、本年は人付き合いが活発化する年となるかもしれません。人付き合いといえは、ゆたかクラブ豊橋の得意とするところで

す。これまで以上に地域に出て、多くの縁を育んでいきましよう。

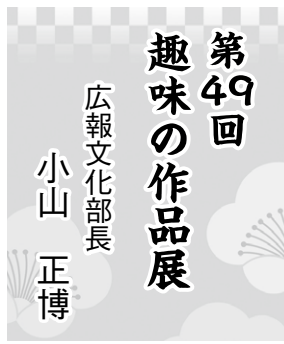
私事で恐縮ですが、昨年は本会の会長職を仰せつかるなど、これまでの人生の中でも経験したことのない出来事がありました。つい弱音を吐いてしまいそうな時もありましたが、老人クラブの大勢の仲間が励ましの声を掛けてくださり、また健康を気遣ってくださるなど、大いに私を支えてくださいました。本当に老人クラブに入っていてよかつ

たと実感できる年でありました。

私自身、この素晴らしい経験を多くの方に伝えていくことに注力していきたいと考えていますが、聴覚が優れていると言われる犬のように、いろいろなご意見にも耳を傾けていきたいと思っています。会員の皆さまも本会を盛り上げ、新しい仲間を増やしていくことにご協力くださるとありがたい存じます。そして、笑顔あふれる、明るく元気なゆたかクラブ豊橋を共につくっていきましよう。

結びに、本年が皆さまにとりまして素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

10月25日から27日の3日間、豊橋市民文化会館展示室にて、趣味の作品展が開催されました。絵画、木版画、ぬり絵、絵手紙、写真、書道、水墨画、南画、手工芸、華道、川柳、俳句等設楽町



の作品も含めて、252点が出品されました。開催3日間の入場者数は496名で、前年より51名多くありました。



華道「生け花」を出品する人たちは、前日に思い思いの言葉を交わしながら作品を仕上げ、会場はにぎや

かな雰囲気包まれていました。前年と比べて、今年度は写真や書道の出品数が多く、微笑ましい光景が映し出されていました。また、絵画等には素人目ながら力作を感じました。出品人数は234名。出展していただいた皆さまに感謝を申し上げますとともに、来年もより多くの作品と出会えますよう期待しています。



10月25日から27日の3日間、豊橋市民文化会館リハーサル室で女性部チャリティーバザーを開催しました。台風21号の影響で、雨が降ったりやんだりの不安定な天気が続いていました。バザー初日にあたる25日も雨でした。それでも、

朝から大勢の人たちが、開始時間前から並んで待っていてびっくりしました。私たち女性部は、社会貢献という目的のため、また何よりも来場者の方に喜んでいただけるよう、4月からバザーの準備を進め、何度も話し合いを重ねました。9月に入ってから、各校区で、日用品や衣類、食料品などの販売品を集めました。皆さまのおかげもあって、約13,800点もの品物を集めることができました。

このバザーは大変人気があり、今年は3日間とも開場前から長蛇の列ができました。来場者の中には毎年必ず来てくださる方や、市外から足を運んでくださった方もいました。私たちも販売品は毎日公平に仕分けして、より多くの来場者が品物を購入できるよう心がけました。



女性部長 戸鹿島はつ子

バザーの準備を通して、仕分けや値付けなど大変な作業もありましたが、女性部の仲間同士、強い絆が生まれたと思います。また、今年度のバザーの収益は、相談の結果、自然災害の被災地への義援金として寄付することに決まりました。



この取り組みが無事に終わったことを心より感謝いたします。そして、これからも女性部の活動にご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

10月26日、豊橋市民文化会館ホールにて「第40回趣味の演芸大会」が開催されました。今年の10月は例年よりも雨の日が多く、当日の天気を心配していました。幸い晴天に恵まれた日となりました。会場の入り口付近には朝早くから長蛇の列ができ、出演者や見学者の熱気が伝わってくるようでした。

今年度より、ゆたかクラブ豊橋の生きがい事業推進部長を拝命したため、私は司会という大役を仰せ付けられました。前日の夜から何度もしナリオを読み返し、万全の準備を期したつもりでしたが、不安は消えず、緊張は解けませんでした。午前9時30分、ゆたかクラブ豊橋、前田副会長の開会のことは皮切りに大会が始まりました。33組463名の方が順番に、熱のこもった演技を披露していききました。私は舞台袖で出演者を紹介していくのですが、演技が終わるタイミングをつかむのが難しく、「ありがとございませう」という演技終了のアナウンスを上手く行うことができませんでした。

舞台袖には出番を待っている出演者が待機してあり、緊張がよく伝わってきました。また、男女混合の合唱のグループが、高音の時は男性が女性に音を合わせ、逆に低音の時は女性が男性に音を合わせながら互いに協力している姿はとても印象的でした。

来年も各グループがさらなる練習を重ね、この舞台に戻ってきてくださることを楽しみにしております。

第40回 趣味の演芸大会を振り返って

生きがい事業推進部長 岩月 淳一

各種スポーツ大会結果報告

第5回 富安貞夫杯 ゴルフ大会

◎ 日 時 平成29年11月22日(水)
◎ 場 所 新城カントリー倶楽部
◎ 参加人数 122名



順位	氏 名 (校区名)
優 勝	尾崎 行雄 (谷川)
準優勝	長谷川和久 (老津)
第 3 位	谷山 良昭 (牟呂・汐田)

〈ドラコン賞〉

北コース6番	松下 四郎（前芝）、平河 伸允（老津）
東コース9番	山本 英司（大崎）、辻 健志（福岡）
南コース3番	初沢庄二郎（小沢）、細井 健次（杉山）

〈ニアピン賞〉

北コース3番	前田 恭（前芝）、杉浦 利幸（東田）
東コース2番	彦坂 誠一（老津）、河辺 勝利（松葉）
南コース4番	小林 明（植田）、谷山 良昭（牟呂・汐田）

※他にも、飛び賞（5位ごと）、ブービー賞、お楽しみ賞を贈呈いたしました。

第5回 ボウリング大会

◎ 日 時 平成29年12月13日(水)
◎ 場 所 岩屋キャノンボウル
◎ 参加人数 144名 (29チーム)

↓団体の部で優勝した
富士見Aチームの皆さん
見事2連覇達成! 週
に2、3回は練習を行っ
ているそうです

順位	校区名	スコア
優 勝	富士見 A	1,505
準優勝	吉田方 A	1,480
第 3 位	谷 川 B	1,451



〈個人の部／男子〉

順位	氏名(校區名)	スコア
優 勝	鈴木 正宏(富士見)	346
準優勝	松下 賢一(新 川)	338
第3位	藤城 昌三(吉田方)	334

個人の部で優勝した鈴木さん(左)と内藤さん(右)

〈個人の部／女子〉

順位	氏名(校區名)	スコア
優 勝	内藤 桂子(大清水)	330
準優勝	野澤 次子(吉田方)	299
第3位	小林 勝子(吉田方)	299

※上記の賞以外に、飛び賞（10位ごと）、ブービー賞を贈呈いたしました。

第19回 ペタンク大会

◎ 日 時 平成29年9月26日(火)
◎ 場 所 豊橋球場
◎ 参加人数 141名 (47才一ム)



順位	チーム名
優勝	福岡 B
準優勝	花田 C
第3位	福岡 C
第4位	小沢 A
第5位	牛川 B
第6位	富士見 C
第7位	玉川 A
第8位	高豊 C



第41回 ゲートボール大会

◎ 日 時 平成29年10月4日(水)
◎ 場 所 豊橋球場
◎ 参加人数 85名 (15才一△)

順位	チーム名
優勝	高 豊
準優勝	つ つ じ が 丘
第3位	細 谷
	小 沢 A



第19回 グラウンド・ゴルフ大会

◎ 日 時 平成29年11月1日(水)
◎ 場 所 豊橋球場
◎ 参加人数 約570名

総合優勝	男子の部	村川日出夫
	女子の部	清水ヨリ子



総合優勝した村川さん(左)と
清水さん(右)

順位	男子Aブロック(スコア)	男子Bブロック(スコア)
優 勝	村川日出夫(29)	鈴木 政雄(31)
準優勝	戸塚 正男(30)	西島 昭雄(35)
第3位	市倉 安幸(33)	野村 昌利(35)

順位	女子Aブロック(スコア)	女子Bブロック(スコア)
優 勝	鈴木 絹代(27)	清水ヨリ子(32)
準優勝	山田智恵子(32)	菅谷 暉子(34)
第3位	渡辺みつ子(33)	平松エイ子(34)



校区・単位クラブ活動

11月20日、前日までの雨・強風も静まり、女性25名男性13名総勢38名の参加。7時30分ごろバスに乗り、御在所・忍者博物館・信楽陶芸村と巡る旅へと出発した。

目的地近くなると車窓に紅葉が映りはじめ、添乗員さんから頂上では積雪があったと伝えられた。ロープウェイの登りは12分間。真下から中腹にかけて、素晴らしく鮮やかな紅葉に浸る間もなく、左右の木々の樹氷の花盛りに一同びっくり。そしてここり。この時季に「紅と雪」両方見られ幸運そのもので皆さん大変感激していた。下りの

信楽陶芸村の窯元の釜数は、山の傾斜に11基あり、奇数(偶数だと割れるから使わない)で呼ばれていると知った。タヌキは年間10万体制産されており、カエル・フクロウの縁起物の置物が所狭しと並べられ客を出迎えていた。



ロープウェイより下界を見ろす



5分くらいは雲の中に入り視界ゼロ。これもまた初体験? 雲が去ると陽が当たり始め、下界の景色にうっとり。感動の連続だった。伊賀流忍者博物館では、江戸時代の屋敷の襖・天井・雨戸・床板等にさまざまなしかけ・工夫がなされていると説明を受けた。一同アツと驚くカラクリと忍者姿の案内に引きつけられた。

花田校区

花田校区老人クラブ 恒例の日帰り旅行

花二会 三井 芳郎



信楽陶芸村にてダルマのお出迎え

帰りの車中は、2列ビンゴゲームで大変盛り上がり。天気にも恵まれ、皆さんの協力により無事帰ることができ感謝の気持ちでいっぱい。紅葉と雪景色の二重の喜びを胸に焼き付けた忘れられない思い出となった。

松山校区

防犯・防火・交通安全教室開催

大国町寿会 安藤 春男

年の瀬を前にテレビや新聞では、毎日のように高齢者が、だまされた、事故で死亡、火災死亡、等のニュースが多い中、大国町寿会では11月18日自治会と合同で警察署、消防署、市役所より講師をお願いしまして、町内集会所にてこれらの事故を防ぐ教室の開催を呼びかけて、町民に多数参加していただきました。防犯については、高齢者

を狙う電話詐欺です。「私は大丈夫」と思っている、だまされる!! 高齢者が一人で居る時間を狙います。その数々の手口を聞きまし。身に覚えのない電話は身内の人か警察署に電話してください。あわてる必要はありません。

火災の原因で多いのは放火、たばこ、ナベ、ストーブなどです。絶対に火から離れないこと、離れるとき



は必ず火を消すことです。火災警報器を寝室にも付けるということです。地震時の電気火災対策に感震ブレー

カーで家、地域を守りましょう。その使用説明を聞きました。

交通安全は加齢による「心と体の変化」が事故の危険を招きます。「目」の視野が狭まり視線が下を見る、薄暗い見えにくくなります。「心」は複数の事を同時にできなくなり、自分勝手に行動する。「体」は反射神経が低下し感覚と動作にズレが生じます。交通事故で死者の半数以上が高齢者です。

これらのお話を3時間ほど聞きました。大変勉強になりました。

花田校区

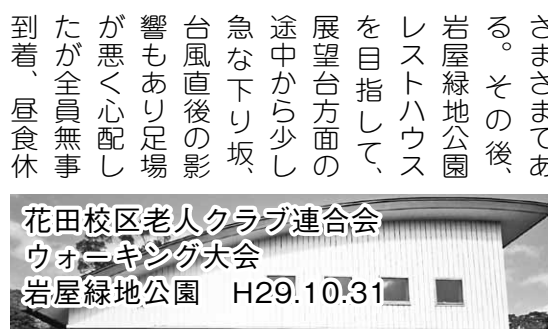
岩屋緑地公園を歩く

百度町福寿会 田中 嘉明

花田校区老人クラブ連合会では、毎年ウォーキング大会を実施している。適度の運動とおしゃべりを通して相互親睦と健康長寿に大いに役立っていると思う。

今年は「森林浴とプラネタリウムで星巡り」をキャッチフレーズに、二川の岩屋緑地公園を舞台に設定した。

10月31日、豊橋駅からわずか6分で二川駅に到着。岩屋観音に向け出発。足に自信のある人、ない人、入り混じっての長蛇の列。岩屋緑地公園入り口で20分の休憩、体制を整え岩屋観音



までなだらかな坂道を木漏れ日を浴びながら散策。岩屋観音で30分の休憩、その間岩屋観音に登る人、道端の石に腰掛け休む人、さまざまである。その後、岩屋緑地公園レストハウスを目指して、展望台方面の途中から少し急な下り坂、台風直後の影響もあり足場が悪く心配したが全員無事到着、昼食休憩をとる。持参したおにぎり弁当を頬張りながら、柔らかな秋の日差しをいっぱい受け日光浴。

ゆっくり休憩後、レストハウスから数分のところにある視聴覚教育センターでプラネタリウムを観覧、童心に帰リロマンチックな星巡りを堪能。星の世界を思いめぐらしながら、二川駅に向け最後の行程を全員無事終了。豊橋駅で解散。

秋の日差しと、紅葉を満喫し、近づく冬の気配を感じつつ、ワイワイガヤガヤ仲間とおしゃべりを楽しむ一日だった。

校区・単位クラブ活動

植田校区

梅田川フォーラムの歩み

第一ひさご会 小林 芳樹

梅田川フォーラムは「水でつなぐ絆の再生」を目的として、地域活性化の一助になろうと前第二ひさご会の野田光司会長の尽力にて組織化され、2008年9月に立ち上げました。活動範囲は梅田川上下流の美化活動（河川掃除）を始めとして、水質測定、生物多様性調査保護、地域の生活・歴史・文化の継承と創造等多岐にわたります。

興亡の勉強会 は好評でした。近年梅田川のシジミの生態調査をした結果、ほそぼそと生息をしている様子がわかりました。またEM発酵液での第7ブロック小学校のブル掃除サポートもリピータ校が続出するほど評価を得ました。

平成28年には梅田川について二川小学校と植田小学校から出前授業の要請があり、上下流の観察と歴史の講話をいたしました。

さて現況を述べますと、創立以来10年間は長く、竜頭蛇尾と申しますかスタッフも高齢になってフット

ワークも陰りが見え、地元企業の熱意も長年に渡る活動疲れも漂い、梅田川下流の掃除動員数も減少に転じてきました。ボランティア活動継続性の悩みも抱えているのが偽らざる状況です。



2016・7・15
三川小学校 梅田川上流観察



→2017・9・23
植田橋周辺クリーン
アクション（掃除）

大清水校区

大清水「ささえあいの会」の 生い立ちと活動

第一豊松会 小嶋 義雄

大清水町には、おおむね1000世帯があり、その内30%が、個別住宅に住む高齢者世帯です。

こんな大清水で地域の困り事、心配事を考えようと、自治会、老人クラブ等から有志20名が集まり、平成27年に「準備会」を立ち上げました。

そんな折、町内で独居高齢者が倒れ、発見が数日遅れるという、痛ましい事故が起きました。大変なショックを受け、何よりも高齢者世帯の実態調査が先と考え、高齢者がどんな支

援を欲しているのかを実際に家を訪問して調べました。その調査結果から、自分たちが支援可能な14項を選び、会則へ織り込み、やっと平成28年に大清水「ささえあいの会」を発足させることができました。

もちろん、発足には、人物、金が必要です。一番大切なことはボランティアの人の確保です。会則の14項目を提示して募集したところ、54名もの人が登録できました。またお金についても大変苦労しています。当初の作業道具は、市からの

助成金で賄いましたが、これから活動のためには、草刈機や一輪車などの増設が不可欠です。みんなで工夫して対応していきたいと考えています。

さて、実績は50件ほどとなります。まだまだ、支援件数拡大へのPRが必要であり、改善すべき点多々あると考えています。

やっとここまで来たという感じの大清水「ささえあいの会」ですが老人クラブとしても支援する側、される側の両面で参画し、無理をせず、楽しく、息の長い活動を行っていききたいと思っています。



谷川校区

中原町立岩会トピックス

中原町第二立岩会 尾崎 収男

恒例行事の一つである立岩会の芸能発表会が本年度も平成29年7月9日（第2日曜日）に中原町公民館で行われました。

9時30分の開始と同時に総勢42名の高齢の方々が参加され、昼食会、ビンゴゲーム大会を含む楽しい1日を過ごされました。

カラオケによるのど自慢は高齢楽団。中でも一際目を引いた元気な歌声の歌手は御年100歳を迎えられた山本トヨ子



さんでした。しっかりとした音調と語言に参加者一同を魅了しました。「あるべき姿」の現実を目の当たりにした、1コマでした。

これからもますます元気で素敵な歌声を披露してもらいたいと思います。

校区・単位クラブ活動

東田校区

日帰り旅行に参加して

東田元町寿会 高柳 致子

1年に一度の日帰り旅行として、バスに揺られて三河湾国定公園内にある吉良温泉へ、行ってきました。運よく素晴らしい好天に恵まれ、90歳以上4人を交えて平均年齢82歳35人が杖をつき、手を取り合って老人クラブならではの、ゆっくりにスケジュールでした。

始めはがん封じの無量寺でしっかり参拝し、次は思いがけず全員が集合時間を守って早めに行動したため、時間に余裕ができたこと。しばらくして目的地の食事処の三河湾リゾートホテル到着。そこからの眺めは想像以上の絶景で、息をのむ美しさでした。紺碧の海

に浮かぶ島々、遠く渥美半島が望めて絵のようで、すっかり眼に焼きつけました。ごちそうをいただき、



温泉にのんびり浸り、自慢ののどをご披露されたりとたくさん楽しませていただきました。

帰路の途中ラグーナテンボスで散策、土産を買い求めたり、みんなでソフトクリームをいただきながら歓談したりと自由時間を有意義に使い無事に帰ることができました。ホテルの従業員の皆さまの心からのおもてなしにあずかり、行事予定外の見学をさせてくださった優しい運転手さん、時間をしっかり守って行動してくださった皆さまのおかげで1日楽しくさせていただきました。感謝の1日でした。

東田校区

笑いヨガに思う

仁連木東郷寿会 高橋きみよ

最近趣味を楽しむ教室が大変多くなってきました。その一つに笑いヨガがあります。「笑う門には福来たる」と言いますが、いつも笑っていられないのが日常生活です。大体は面白いとき、楽しいとき、気分のいいときに笑います。

笑いヨガはインドのお医者さんが考えた健康法の一つなのです。ナマステ笑いと言って両手を合わせ、お互いの目を見て笑いながら

息を吐き切りあいさつをします。ニッコリと口角を上げて目尻を下げる意識をするようにと言われますがなかなか難しいです。笑いの体操にはゴッコ遊びがありまして、梅干し笑い、静電気笑い、変顔笑い等多数あります。また指遊びや面白い替え歌とかでも笑いを呼びます。また寒いとき等、お互いに背中をすり合わせたり手をたたき合ったりしていると体も温かくなってきました。

高齢になると笑いが減る

と言われます。ましてや認知症になるとなおのこと笑わなくなります。笑いヨガは腹筋運動にもストレス発散にもなり、地域の皆さんとの交流は脳の活性化にもつながると思います。

誰にはばかることなく実行できるのも教室ならではのことだと思います。夫と向かい合って作り笑いをするのは何とも奇妙なものです。「気持ちが悪いのでやめてくれ」と言われます。

笑う門には「健康」も来る、一見何の関係もない笑いが免疫力と関係していることはいろんな研究で実証されています。笑うことは思ったより難しいですが、なるべく笑えるように努力



したいと思います。そして笑いヨガの輪がもっと広がれば良いと思います。

芦原校区

「御在所岳」から伊勢湾の眺望と紅葉を楽しむ

芦原校区老人クラブ連合会 伊藤 公満

今年の秋の親睦旅行は「京都御所・京料理」案に僅差で勝った「御在所」に決定。たまには1泊を、という声もありましたが、慎重に検討した結果、参加者が多い日帰りになりました。

10月18日(水)。朝から快晴。風もなく、欠席者もなし。衆議院の選挙期間中。天候は前日までずっと雨。翌日も雨。全員が晴れ女・男です。参加者67名(女性40・男性27)。バス2台。車中はゆったり。まずは、日本最古の神社である鈴鹿の猿田彦大宮「椿大神社」でクラブの発展と会員の健康を祈願。



山登りの前に腹ごしらえを、「湯の山」のホテルで昼食。ホテルの前で全員揃って記念写真。温泉がありました。次回の楽しみに。次のお目当てのロープウェイ乗り場へ。起終点の高低差780メートルを全長2160メートルのロープウェイで登る(半世紀間も運転。頑張ってるわれわれと同じ)。来年、リニューアルするらしい。乗車12分間は結構長い。降りてから、さらに観光リフトで山頂まで行く人もある等、元気な仲間がいて頼もしい。

時間にはせかされて、次の孤野の「アクアイグニス」へ。ここは温泉・温室・和洋食店・ケーキ店・パン店、などなどあり、若い客が多く、いろいろと目の保養をさせてもらう。有名なパティシエ・辻口博啓さんの石窯パン等を土産に、帰りのバスに。

車中は行きも帰りも和やかに。カラオケ・ビンゴも楽しく。どこも出発予定時間通りでスムーズに行動。全員揃って無事帰着。皆さんご協力ありがとうございました。

会員随想

高齢者の役割に ついて思う

飯村校区
東山シルバークラブⅡ
中村 北麿

去る11月25日の中日新聞の朝刊、東三河版で豊橋に「愛着」「自慢」が過去最低という記事を読んだ。内容は平成23年からの市民意識調査で愛着度は「とても愛着がある」と「やや愛着がある」が77・5%、自慢度は「とても自慢できる」と「やや自慢できる」が49・2%であったがいずれも過去最低となった。年代別では世代が高いほど数値は高く若い世代が低い結果となっている。市はさまざまな施策を講じているがその成果はまだ表れていないと評している。

私はこの記事を読み、現代の世相が如実に表れているように思った。

確かに若い世代は「社会に浸り情報洪水の中で独自の思考を生み出しているが、その反面世代間の交流が減り先人たちが築いてきた文化や智慧を吸収する機会が少なくなってきたことも否めない。

そのため私たち高齢者は長年培ってきた知識や経験を活かし地域の伝統・文化を若い世代にもっと伝承する努力が必要ではなからうか。豊橋には恵まれた自然や景観・歴史・

特産品・交通の利便性等、愛着や自慢できるものが数多くある。

私たち高齢者は自らの健康年齢を高めるとともに軽薄になった家庭内や世代間の交流を深め地域の伝統・文化を次世代に伝承する使命があるはずです。またこのような務めが私たちに与えられた最も必要な役割であり社会貢献であると改めて考えさせられた次第である。

14日間、 生きていた封筒

大村校区
沖木ことぶき会
内藤 克弘

11月14日、シルバースポーツ中央大会の応援のため、午前7時30分に家を出て、帰宅したら「午後2時に5組のAさんが来られます」と家内から伝言があった。約束の時刻、「ご夫婦が来られ、三つ折りの折り込み広告を渡してく

れた。畳んである広告を開いてみると、中から雨で汚れた封筒が出てきました。封筒に書いてある名前と数字を見た瞬間、10月31日ポケットから落ちた封筒であることが瞬時に分かった。中には、みのり会日帰り旅行代金が雨に濡れて入っていた。封筒が生きている。思わず感動。

「今朝、自宅に子供見守り隊のBさんが届けてくれまし

た」とAさん。

「実は31日、三世代交流事業で保育園に行き、封筒を浅いポケットに入れたため、何かの拍子に落としてしまいました。翌日、念のため自転車でのコースを捜しましたが、封筒は見つからず、諦めました」と私は答えた。

Bさんは老人クラブ会員であるとのこと、自宅と名前を伺い、あとは私がお礼しますと、善意で来ていただいた感謝を述べ、お見送りした。

早速Bさんを訪ね、届けてくださったお礼と経緯を話すと詳細が判明した。いつも見守り隊で児童を学校に送り、14日、いつものように「ミ拾いをしながら歩いていると神社の側道の草むらに三つ折りの広告が目にとまった。何気なく開いてみると5組のAさんの名前が書いてある封筒があったので、Aさんの自宅に届けたとのこと。」「お互いさま」精神が根付いていることを実感した。

ディズニールンド での感動

花田校区
西羽田町ゆたかクラブ
羽田 光江

10月ある団体とディズニールンドとディズニールンドに行ってきた。

シーにあるホテルミラコスタに泊まり2日間たつぶり見学できたのでたくさんのアトラクションやショーを見て回ることができ本当に良かった。中でもシーの屋外の夜のショーとランドのパレードは感動的だった。火の競演と言

おつか船から大規模な火柱が幾重かに勢いよく噴出し同時に大きな竜の口から噴出した火と絡み合うなど、また花火も打ち上げ、空をにぎわし見事な30分余りに酔いしれる思いだった。パレードはおどろきの国の乗り物にミッキーほか大勢のキャラクターが分乗し皆すばらしい扮装で踊り回っ

キッチン掃除の強い味方！

魔法の粉「重曹」



シンク、ガス台、三角コーナー、ガラス、カップなどは、重曹をかけて湿らせたスポンジでこするとピカピカに！

汚れのひどい排水口は、カップ1杯の重曹を入れ、温めたお酢2カップをゆっくり注ぎしばらく置いた後、お湯で洗い流せば中までスッキリ。

口の広いピンに1／2カップの重曹を入れ、布で口を閉じ冷蔵庫に入れると消臭効果があります。

効果は3カ月で、使い終わった重曹はキッチンの拭き掃除に再利用できます。



て20〜30台ほどが通過した。

見物客にも愛想を振りまき握手したりした。観客は皆一所に座って動かず、一団体が通り過ぎるまでゆっくり見られたのはありがたかった。また、ホテル内の会合の所へはミッキー以下仲間5人がやってきて皆と写真を撮らせてくれたのは子供でなくても本当に楽しかった。その上、ハロウィン祭りもあって大勢の観客がきらびやかなコスチュームに着飾って行動しているのを見るのは初めてで驚いた。

シーとランドの間はモノレールで結ばれ移動は快適なもの。ホテルミラコスタは大石や絨毯張りで壁面も高級なものの揃い。ぜいたくな旅行を味わせていただき大興奮だった。大勢の人垣を上手に通り返けて行動できたし、若い同伴者に迷惑をかけずに楽しめたことに自分でも感心し、喜びの気持ちでいっぱいだ。今回が最後の訪問だろうと考えて満足した。

シーとランドの間はモノレールで結ばれ移動は快適なもの。ホテルミラコスタは大石や絨毯張りで壁面も高級なものの揃い。ぜいたくな旅行を味わせていただき大興奮だった。大勢の人垣を上手に通り返けて行動できたし、若い同伴者に迷惑をかけずに楽しめたことに自分でも感心し、喜びの気持ちでいっぱいだ。今回が最後の訪問だろうと考えて満足した。

おたまじゃくしは 蛙の子

〜東三河道路編〜
（小久保音楽狂室）

向山校区
いきいきクラブ
小久保 継

○県道4号の湖西側 不法投棄で困ってる
それが何より証拠には
ゴミをいっぱい溜め（多米）峠。

○田原へ行く道
259（地獄）号線

交通事故には 気をつけて
それが何より証拠には
追いつ（老津）追われつ
事故のもと。

○新東名高速道 地震対策
バッチリだ
それが何より証拠には
安心しろ（新城）市を横断
だ。

○国道301号線 スピード
違反に 気をつけて
それが何より証拠には
パトカー すぐに 追いつ
くで（作手）。

○国道151号線 北へ北へと 延びている
それが何より証拠には
本当に遠え（東栄）よ
遠いよね（豊根）。

○国道257号線 中央道への近道だ
それが何より証拠には
北へ走ったら（設楽）
恵那に出る。

○国道362号線 昔は山賊
出たみたい
それが何より証拠には
キヤー助け（嵩山）てと
悲鳴（姫）街道。

○国道23号線 競艇 寄らず
に まっすぐだ
それが何より証拠には
西を（西尾）めざして
直行だ（幸田）。

○国道42号線 鳥羽への道が見え（三重）ません
それが何より証拠には
伊良湖灯台もと暗し。

○東名高速 西に向け
おつ母先（岡崎）に
行ってくれ
それが何より証拠には
夫は（音羽）インターで降
りるから。

夫の死を
乗り越えて

岩田校区
北岩田区老人クラブふたば会
小椋かつ子

主人はこの夏、肺炎であつけなく逝ってしまつた。少しの間、部屋から出られずにいた。「お母さん、そんなことしていてもお父さん喜ばないよ。元氣出して。逝つてしまつた人はもう帰らない。泣いてたら孫が心配するよ」と嫁や娘に言われハツと氣つき、これではいかん。お父さんの分まで長生きし、孫の結婚式に出てあの世でお父さんに土産話をしなくてはと思ひ直した。夫の死から學んだことでもある。

早くからふたば会に入つていて良かった。公民館まで歩いて行ける。元氣を出して、もう一度カラオケ、絵手紙、旅行へと今までの生活に。少しずつ一歩踏み出して元の生活に戻していきたい。

皆さんも私のように一人になつて寂しく思っている人が何人もいると思うけど、同じ一人者同士仲良くふたば会に入つて楽しみませんか。亡くなつた人はもう帰らない。それならこの先のことを考え、カラオケに入りませんか。昔はテープを持って行つたけど今は違ふ。私がお父さんに「誰かカラオケの機械を町内に譲ってくれる人いないかね」と相談。「一度俺が声をかけてみる」と言つて見つけてくれ、そしてOKがとれカラオ

ケ仲間たちが重い機械を公民館に入れるのを手伝つてくれ大助かり。みんな楽しんでゐる。

今はこの世にいないけどお父さんに感謝。今は身一つで行けば仲間がいる。みんな待つてくれる。カラオケで大きな声を出していれば元氣になれ人生がかわり自分もまだまだいけると思ふ日がきますよ。

家で咲いた幸せの花。四つ葉のクローバー送ります。



戦争にまつわる
私の体験 (抄) 7

二川南校区
二川南町寿会
山本 民男

出征兵士の見送り

小学校入學とともに日中戦争が始まり、徴兵される人も増えてきました。入隊者がでるたびに、全校生徒で見送りました。小学校の校庭に集まり町役場の職員、在郷軍人会 (退職した軍人の会) 会長、親族、知人らがそれに続き、「出征兵士を送る歌」や「日本陸軍」を歌いながら小学生

全員がそれに続けました。

「我が大君に 召されたる生命^{いのち}栄光^{はえ}ある朝ぼらけ 讃えて送る一億の 歓呼は高く天をつき いざ征け つわもの 日本男児」

「天に代わりて 不義をうつ、忠勇無雙の我が兵は 歓呼の聲に送られて 今ぞ飛び立つ父母の国、勝たずば 生きて還らじと 誓つ心のいさましさ」

英霊の出迎え

戦死者の遺骨が戻つてくるときに駅まで出迎えに行つた記憶が1回はありますが、恒例化していたか覚えていません。次から次へと戦死者が出たのでは反響が大き過ぎると中止したのではないのでしょうか。

昔は戦死者には年金が付いたそうですが、このころは一時金でした (戦後、扶養者には年金が付くようになりましたが)。そのお金の全てをお墓に掛けたようです。二川町・松音寺へ行くと、その立派なお墓が記念碑として保存されています。最初のころは非常に大きく、だんだんと小さくなりました。(次号に続く)

孫の運動会を
参観して

津田校区
西日進会
笹野 壽

去る9月30日(土)、息子に誘われ、田原市の小学校1年生になる孫の運動会に出掛けました。

1年生全員でわずか12名、

他の学年でも20名前後という小規模校です。

少子高齢化が進む昨今、生徒数の減少は、どこも同じと思われる。

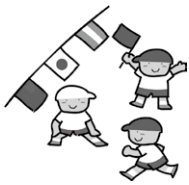
運動会が始まり、隣接する保育園児の遊戲や、校区あがての町別対抗リレー・玉入れなど、見ていて楽しいものばかりでした。

その中でも、徒競走で、若い女の先生が右手を真つすぐに上げ、背筋をピンと伸ばして、スタートのピストルを撃つ姿が格好よく、また、器具係を担当する高学年の生徒たちが、運動場に引かれた白線に沿つて、直角に曲がり並んで器具を出し入れしていたことや、PTAの役員さん・先生方が、生徒たちと一緒にになり、キビキビと行動していたことなど、大変印象に残りました。

40年ほど前、私が教員で体育主任をしていた当時と同じような指導を、この学校で行われていることに、驚きと感動を覚ええました。

雨上がりの青空には、万国旗がはためき、子供たちの歓声と、保護者・先生・役員の方々の惜しみない拍手がいつまでも鳴り響き、学校の大小規模に関わらず、すばらしい運動会を見ることができました。

孫の走る姿に一喜一憂しながら、私の心の中にも爽やかな秋風が吹いた一日でした。



強く優しい男の子
優しく強い女の子

飯村校区
第二飯寿会
西川 文子

東日本大震災は私が自宅で転倒し入院した日と同じで、早や6年が経ちますが、忘れることはできません。

「ラム」(中日春秋)に、宮城県女川町第一小学校の校長先生の感動的な話が載り、私も胸を打たれました。

津波で800人超の犠牲者を出し、建物の7割近くが全壊した女川町は、県内で最も早く学校を再開した。

「子どものケアは子ども同士のふれあいに勝るものはない」と子どもが元氣にならないければ大人も元氣にならない」という考えからだ。最初の朝礼で何を話すか悩んだ星校長は、校木のヒマラヤ杉と向き合つた。

校門近くまで津波は押し寄せたが、巨木はどっしりと構えていた。なぜ木は倒れなかったのか。子どもたちに理由を考えてもらおう。校長が朝礼で質問すると、男児から「根っこがしっかり張っているから」と予想していた答えが。母と姉、祖母の行方が分からない5年生の女兒は、数十秒の沈黙の後、「何千人もの卒業生や多くの人たちに見つめられてきたから負けなかつたんだと思います」と。

優しいから強いという発想に校長は感動し、言葉がなかったという。

被災地がこの震災で受けた打撃は計り知れないが、優しさで強さを併せ持つ若者がいれば復興は見えてくる。とラムは締めくくられています。根強い一本の木から子どもたちに優しさとたくましさを導かれた星先生を私は尊敬致します。

私のふる里

多米校区
第一和来会
柴田七海子

南アルプス。東に富士山、北に八ヶ岳の麓にある大泉という所で大きくなりました。

小学校は1年から6年まで83人、先生3人の分校です。中学は7人で一里歩いて通いました。

畑の中に一本松があり、お地蔵さんが立っていて、その下を水が流れています。行き帰り、手を合わせ水を飲みました。

帰りはそこから山に行き、グミやイチゴを食べ木に登り、ワラビやセリを採つて、暗くなるまで遊んで帰りました。

少し前から八ヶ岳が有名になり、道路もコンクリートになりバスが通るようになりました。学校も石碑になり、町の名前も北杜市になり、観光地になりました。

でも、私のふる里は、南アルプス。東に富士山、北は八ヶ岳の麓大泉です。

ボランティア 四苦八苦の車イス (川柳)

中秋の名月輝き柔らかに
たわなに実る稲穂ら照らす
城 憲男

草もみじ釧路平野を埋めつくし
火刑の如く真つ赤に燃ゆる
伊藤みつよ

■豊校区 西岩田親睦クラブ
春立つ日八十四粒手のくぼに
鬼やらひの豆友持ちくれし
金田 英子

■幸校区 南松原寿会
庭先に咲く萩の花淋しげに
老いた坂道晩秋の日々
伊藤富士子

一羽だけでもありがとう待ってたよ
アサギマダラは狭庭とびかふ
大橋 睦子
菜の花を愛でてテレビのインタビュ
受けて気になるニュースの時間
金子 浩吉

■幸校区 牧野町長寿会
声からし手に汗握る運動会
走りし孫の姿凛々しく
宮田 建夫

■大清水校区 第一豊松会
暑さから生き返りしの秋風が
身に沁み入りての高齢期なりぬ
鈴木 正子



■栄校区 弥生町大空会
湖に沈みたる恋なきがらは
水を清めて空を青くする
小山 正博

■牟呂・汐田校区 坂津松寿会
上高地奥に進みて目に留まる
一面覆う二輪草の花
横田 久枝

■吉田方校区 若波会
良き親のもとへ生れし感謝の日
米寿を祝ふ姉妹正月
河合 昭子

宵六時キッチン窓灰めきて
うす紅色の空仰ぎ見る
横山 宜世

幾度の参詣なせし戦没者碑
供花の香りに少し安堵す
丸山二三四

■吉田方校区 菰口町寿会
コスモスは赤、白、紫紺咲き揃い
一枚二枚宙に舞い散る
杉浦尊香子

■福岡校区
橋良老人クラブ東みどり会
身めぐりの立ち日にあれば尚更に
平和なる春しきりに恋ふる
田中 横子

■津田校区 西日進会
柿熟れて鳥にも残す心立て
荒む憂世の罪人にも
笹野 君夫

■大崎校区 大崎老人クラブ
家並みの異なる路地を歩みゆく
鎮守の森を遠くに目指し
神藤みち子

トタン屋根に落ち来る柿の音凄し
鈴生りなれど取る人もなく
田中さな江
農に生まれ農に嫁ぎて六十五年
無様なれども悔ゆる事なし
近藤美代子

■富士見校区
ニューレイク第一クラブ
しもつきに澄んだ秋空舞う落ち葉
親ともはなれ一人旅立つ
早川 郁代

■飯村校区 シニアクラブ同好会
トロツコの車輪軋ませくねり行く
黒部の谷の景色楽しむ
長坂 一昭

■前芝校区 前芝短歌教室
亡き父の山吉田小の教え子が
逝きて六十年 詣りくれたり
牧平 澄子

眉描きて口紅ぬりてやふやつと
気だるきひと日家事をはじめ
中河 迪子

残ししもバイオ燃料の素なると
罪の意識のはつか薄らぐ
松下 正子

白白と今吐き出さる飛行機雲の
交差くつきり平和かみしむ
山本 幸代

台風の過ぎし夜空の冴えわたり
こうこうと月我が身を照らす
中島タエ子



■老津校区 老津短歌教室
今日もまた石をぬらして細き雨
寒さを連れて明日もくるらし
石田 初枝

次々と花訪れる秋の蝶
紙めるが如く愛でて飛び去り
鈴木きみゑ
老いてなお野菜作りよこれしかない
爺と二人今日も畑行く
鈴木 元恵

秋の日は翔るが如く過ぎ去りし
すだく虫等の声細まりぬ
原田 玲子
残菊を見つけ歩みを早めたり
霜に耐えてきて秋の殿
伴 匡晃

■多米校区 第一和来会
雲り空はつきり見える山波も
なぜか淋しい秋の夕ぐれ
三浦 松代

■東田校区
東雲町老人クラブ和友会
水仙が寒さに耐えて楚々と咲き
頬を寄せればほのかに香る
松田 陽子

川柳

■八町校区 旭第一寿会
年を取り何をやるにもドッコイシヨ
中村 恒道

■岩田校区
北岩田一区老人クラブふたば会
夫逝き苦楽も話せず涙する
小椋かつ子

■岩田校区 東岩田長寿会
ご馳走も入れ歯にきいて迷い箸
千賀 芳彦

■中野校区 中野おあしす会
能力も歳も不問で趣味の役
坂神 克子

■大清水校区 第一豊松会
救急車命つなげてありがとう
毎月例会楽し老いの友
小長谷あいの

■大清水校区 第二豊松会
お雑煮をたべて家族は皆笑顔
君以外現れなかった夢の中
彦坂 登



■大清水校区 柳風会
好きなもの食べ過ぎですと腹の虫
捨てられず又しまい込む着なし服
中野美美子

■福岡校区 小池元町百寿会
捨てられず又しまい込む着なし服
朝ドラに我を重ねし涙する
伊藤富士子

■幸校区 南松原寿会
朝ドラに我を重ねし涙する
伊藤富士子

■栄校区 弥生町大空会
木枯らしに冬の便座の優しさよ
小山 正博

■津田校区 西日進会
覚めやらぬ春は暁目借り時
笹野 君夫

■杉山校区 高明日望会
同情をするふり裏の顔も見え
竹内 澄子

■岩田校区 東岩田長寿会
ご馳走も入れ歯にきいて迷い箸
千賀 芳彦

■中野校区 中野おあしす会
能力も歳も不問で趣味の役
坂神 克子

■大清水校区 第一豊松会
救急車命つなげてありがとう
毎月例会楽し老いの友
小長谷あいの

■大清水校区 第二豊松会
お雑煮をたべて家族は皆笑顔
君以外現れなかった夢の中
彦坂 登

■大清水校区 柳風会
好きなもの食べ過ぎですと腹の虫
捨てられず又しまい込む着なし服
中野美美子

■福岡校区 小池元町百寿会
捨てられず又しまい込む着なし服
朝ドラに我を重ねし涙する
伊藤富士子

■幸校区 南松原寿会
朝ドラに我を重ねし涙する
伊藤富士子

■幸校区 南松原寿会
朝ドラに我を重ねし涙する
伊藤富士子

恵まれぬ青春でした悔はなし
生年がTSHで済む時代
榎島 謙一

リンゴの歌みんなが明るくなった歌
新時代どの様な世にと思いはせ
鈴木いと子

■吉田方校区 若波会
自轉車にのりたき曾孫七轉び
年重ね増してくつきき歩道橋
河合 昭子

■飯村校区 第二飯寿会
この顔にかけたお金は無駄遣い
坂口 美子

■杉山校区 泉向山明日望会
直感でうまい話は遠ざける
井土 幸子

■杉山校区 天津明星会
耳遠く爺のごまかしうまくなり
藤原 道子

■東田校区 仁連木・東郷寿会
お題「時代」
恐かった恐妻時代の妻の顔
板橋 章一

■大清水校区 柳風会
好きなもの食べ過ぎですと腹の虫
捨てられず又しまい込む着なし服
中野美美子

■福岡校区 小池元町百寿会
捨てられず又しまい込む着なし服
朝ドラに我を重ねし涙する
伊藤富士子

■幸校区 南松原寿会
朝ドラに我を重ねし涙する
伊藤富士子

■幸校区 南松原寿会
朝ドラに我を重ねし涙する
伊藤富士子



◆**存続の危機を克服し、多彩なクラブ活動を展開**

東森岡町は古くから住む農家に加え、準工業地域に区分されていることから町内で操業する工場に勤める方の住宅などもあり、多様な住民構成となっています。元々は、この地域の神ヶ谷 3 町（神ヶ谷・東森岡・森岡）が合同で老人クラブを発足し、時を経て平成 7 年に、各町 1 クラブを運営するようになりました。

加藤会長が、所属する東森岡悠友会の会長に就任した 6 年前は会長の成り手がおらず、ちょうどクラブが存続の危機に直面している時期でした。自治会の会長を務めていた加藤会長は当時、「老人クラブに籍は置いていたものの、実質、幽霊会員だった」そうですが、クラブの解散を防ぐため、老人クラブの会長職を引き受けたそうです。それから数年の間に、自治会の協力も得ながら、東森岡住民会館を拠点としてサロン（月に 1 回、コーヒーとランチを楽しむながらおしゃべり）の開催や、さま



加藤 武司 会長

《インタビュー》

単位クラブ紹介

玉川校区東森岡悠友会にお邪魔しました。

インタビュー／(株)博報社

さまざまな趣味の同好会、催しを展開し、新規会員の獲得に尽力してきました。そうです。

加藤会長の働きかけが実り、東森岡悠友会は活気あるクラブに生まれ変わりつつあります。今回、取材にお邪魔した際も、同好会の活動の一つであるミニ盆栽クラブと日曜大工クラブの作品を見せていただきましたが、どの作品もユニークで、楽しい活動の雰囲気伝わってきました。



日曜大工
多彩なクラブ活動を展開！
ミニ盆栽・ゴルフ

また、グラウンド・ゴルフやハイキングなど健康増進につながる活動にも力を入れていきます。ハイキングは、サロンの時に「天気がいから今から近所のお宮さんにお参りに行く」と、たまたま皆で出掛けるところ思いのほか好評で、その後も続けることになったそうです。今では「次はどこに行こうか」「面白いコースを見つけた」と、会員同士で活発な意見が出るほどです。

◆**気軽に参加できる 雰囲気づくり**

クラブ活動において加藤会長が強く心がけていることは、気軽に参加できる雰囲気づくりです。一般的によく行われる定例会は行わず、サロンと回覧板に

より、会員相互の情報共有を図っています。楽しめる活動を中心に行うことで、会員同士のコミュニケーションを深めたいと考えているそうです。

新規会員の勧誘に際しても、強制にならないよう気を配り、普段からの人付き合いが、災害時などにも役立つことなどを丁寧に説明するようにしています。「まずは入会してもらい、様々な活動の中から自分に合ったものを見つけ、徐々に積極的に参加してくれる方が出てくることを目指しています」と、加藤会長は期待を込めています。他にも、クラブとして年会費を集めず、同好会や催しに参加した会員から実費を徴収する方法でクラブを運営する工夫も行っているそうです。「今後も次の世代の人が魅力を感じ、気軽に参加できるクラブづくりを地道に続けていきたい」と、力強い抱負を語ってくださる加藤会長の姿がとても楽しく、清々しい気持ちになりました。

ゆたかクラブ豊橋からのお知らせ

◆**趣味の教室発表会日程表**◆

ブロック名	開催日時	開催場所
仁連木	平成30年3月13日(火)	仁連木老人福祉センター
つつじが丘	平成30年3月 4 日(日)	つつじが丘地域福祉センター
大 岩	平成30年3月10日(土)	大岩老人福祉センター
牟 呂	平成30年3月 9 日(金)	牟呂地域福祉センター
高 師	平成30年3月13日(火)	高師老人福祉センター
大清水	平成30年2月17日(土)	大清水地域福祉センター
下 地	平成30年3月15日(木)	下地老人福祉センター
石 巻	平成30年3月 3 日(土)	石巻老人福祉センター
八 町	平成30年3月15日(木)	八町地域福祉センター

ご協賛各位へのお礼

この度「吉田春秋」の発刊にあたりまして、広告掲載のご協力を賜り誠にありがとうございました。

本紙は、会員が生きがい・健康・教養を高めながら交流の輪が広がるよう願って刊行いたしております。

今後とも何とぞ末長きご厚誼、ご支援をお願いいたします。

ゆたかクラブ豊橋

編集後記

吉田春秋をお届けします。今号もたくさんのご投稿をいただき、ありがとうございました。広報文化部では、皆さま方のご意見・投稿などをお待ちしております。

今後とも読みやすく楽しい紙面づくりに努力してまいりますので、よろしくご支援をお願い申し上げます。

ゆたかクラブ豊橋 広報文化部

原稿募集

- ◎校區活動、単位クラブ活動、俳句、短歌、川柳、随想などの投稿を募集します（写真を添付いただく場合はきれいなものをお願いします）。
- ◎原稿用紙 600 字。俳句・短歌・川柳については各 1 点ずつでお願いします。
- ◎原稿は、市内在住の市老連に加入している方に募集しています。必ず、校区名・単位クラブ名・氏名を明記してください。
- ◎紙面の都合上、やむなくカット・見送る場合があります。
- ◎締め切り／5 月末日
- ◎投稿先／ゆたかクラブ豊橋事務局（豊橋市今橋町 1 番地・豊橋市役所長寿介護課内）

☎ 51・2337